

第3回メルマガ

創刊第3号

3回にわたって皆さんにメルマガをお届けしてきました。

楽しんでいただいた方も多いかと思いますが、文字が多くてしんどかったという方もおられるのではないのでしょうか。

第3回メルマガのテーマは、「同窓会直前号です」。

投稿は、台湾ツアーで唯一東海から参加してくれた糀清志君と、メルマガ委員でもあるウラリこと浦上達彦君です。文字は少なめです（多少小さめですが）。

その代わり、懐かしい高校時代の集合写真を一挙掲載です。卒業アルバムは3年の写真ですが、1年と2年の集合写真を掲載します。ただ、写真が重すぎメールで送れないので、このメルマガ送信メールにURLを添付しますのでそこからご覧ください。パスワードはいつものように、1年1組担任で美術の先生の苗字「〇〇〇〇〇（アルファベット）」です。

投稿の糀君は、同級生の中でも稀代の俊足短距離ランナーでありながら実は詩人でした。台湾旅行メンバーで作ったLINEに掲載してくれた素敵なポエムを皆さんに披露してくれます。

そして、浦上君ですが、DMATという医療従事者のバンドを組んで懐かしのフォークライブを東京で定期開催しています。彼の高校時代へのこだわりは半端でなく、彼の行き過ぎた思いを受けとめてあげてください。

僭越ながら、
私たちは、同じ校門をくぐり、
同じ教室で学び、
同じ窓から季節の移ろいを眺めていました。
あの頃の私たちは、
70歳になる自分を、
誰ひとり想像していなかったでしょう。
卒業の日、
それぞれが夢を抱き、
それぞれの人生へ歩き始めました。
仕事に励み、
家庭を築き、
喜びに笑い、
悩みに涙した日もありました。
決して平坦な道ではなかったけれど、
私たちは、それぞれの人生を懸命に歩いてきました。
またこうして、
堀川高校で出会った仲間と再び顔を合わせています。
不思議ですね。
何十年も会っていなかったのに、
声を聞けば、
笑顔を見れば、
あっという間に、あの日へ帰れる。

青春とは、
若かった頃の思い出ではなく、
人生のどこかで、
いつまでも私たちを支えてくれる心の故郷なのかもしれません。
70歳。
人生はずいぶん遠くまで来ました。
でも、
友の笑顔を見ると、
あの頃の心は、
少しも年を取っていないことに気づきます。
今日交わした笑顔を、
今日交わした握手を、
今日交わした「また会おう」を、
未来への約束にしたい。
あの日の教室は、卒業して終わったものではありません。
70歳になった今日も、私たちの心の中にあります。
堀川高校で出会えたことに、
心から、ありがとう。

穂 清志



堀川高校時代の恋ばな



先日京都で堀川高校の友人達とお酒を飲んでわいわい話しをしていたところ、高校生の頃の恋ばなの話題になりました。

A:「俺、秘密にしてたんやけど〇〇さんと高校のとき付き合っていたんよ」B:「うそやん！ 〇〇さんってあのかわいい子？」A:「そうそう」C:「でも〇〇さんてD君と付き合ってたんとちゃうの？」A:「そのあとやん。でも大学入って別れてしもうた」B:「あの子、めっちゃかわいかったもんなあ…」A:「同窓会でまた会えるかなあ…」



もう70歳にもなるのに50年以上の恋ばなに花が咲くのは、流石堀川高校です。思えば高校時代の夏の期末試験は、祇園祭の宵山の日が終わるのです。それは待ちに待った日で、可愛い浴衣姿の彼女と手をつないで宵山に行くのが一大ロマンスだったのです♥

高校時代の恋愛はめっちゃピュアでした。恋愛対象は、容姿と好みは人様々でも何しろ好きな子、一緒にいて楽しい子でした。一方、大人になってからの恋愛対象は、経済的にも社会的にも安定している人、一緒にいて心が落ち着く人でしょうか。高校の恋愛は、将来のことなどあまり考えないで一直線！あほみたいにPUREだったと思います。手をつないだり、しょうもないことで笑ったりしてるだけで楽しいんですから♥

ユーミンがつくった卒業写真の歌詞にある「あの頃の生き方をあなたは忘れないで あなたは私の青春そのもの ひとごみに流されて変わっていく私をあなたは時々遠くでしかって」というフレーズを思い出し、今度の同窓会ではあの頃に戻って、それぞれの青春を謳歌しようではありませんか♥ああめっちゃ同窓会が待ち遠しい♥（うらりこと浦上達彦でした）



今後の予定と編集後記

＜今後の予定＞

9月19・20日	宿泊BBQ会（近江舞子）
9月20日	第三回メルマガ発行（今回）
10月30日（金）	堀川新校舎見学会（現在案内中）
11月7日（土）	古希同窓会（現在案内中）

今回がメルマガ最後の掲載になりました。第1、第2と原稿や写真を協力していただいた方々には大変感謝いたします。今回の集合写真は1年、2年が何組だったか再確認していただけたと思います。3回出させていただいたメルマガで1人でも多くの堀川高校見学会や古希同窓会に出席していただく事につながれば幸いです。お会いできるのを楽しみにしております。

清水 典子

「たかが同窓会、されど同窓会」過去を懐かしむだけでなく、その後の人生を披露するものでもなく、これからの日々を生きる何かのヒントを皆さんと見つける機会になればと思います。これまで歩んできた歳月より、これからの歳月を大切にするためにも。皆さんのご参加を楽しみにしております。

鮎子田 浩

同窓会への動員目的で、メルマガを、発行いたしました。委員だけでは、到底、出来ませんでした。原稿、写真等、ご協力いただいた、方々に心より感謝申し上げます。11月に多くの方と、お会いできます事を楽しみにしております。

能勢希久子

高1から高2全16のクラス集合写真収集が始まり、ゴールの瞬間テープを切ったのは、数字の昇順では一番の1年1組でした。😊 収集にご協力いただいた皆様に深く感謝です。担任の先生の名前の掘り起こしや他の編集を、陽水、風、荒井由美等の懐かしい音楽を聴きながら楽しく作業させていただきました。写真は流行のAI加工はせずにいただいたままの画質状態でリンクされます。我ら同級生の良きお宝となることを願っています。

藤井 幹也

宴が始まろうとしている。古希の宴。多くの同級生が思い出を呼び起こして集まれるようにメルマガを作ろうと呼びかけた。多くの人的協力と、奔走してくれた編集委員の皆さんに心から感謝して、わが心の堀川へ。

曾根 泰彦

同窓会を指折り数えていたら二カ月を切りました。日々の仕事に忙殺されていますが、そのとき頭にはふっと浮かぶのはやはり高校時代の思い出です。あるとき東京の日々と京都で暮らしていた日々は過ぎる時間の早さが違うのではと言われたことがあります。高校の頃はゆっくりと心を包み込むように時間が過ぎて行った気がします。あの頃の懐かしい時間に浸るために同窓会で皆さんで時を共有したいと思います。

浦上 達彦